

生産者名	大塚隆徳		
所在地	福岡県八女市	調査日	2018/2/20

### 花きの生産状況

生產品目	輪菊（白）
生産面積	177a（ハウス、まる型）
出荷量	79万4000本／年
出荷時期	通年（最盛期は、8月、12月）
消費形態について	知っている（葬祭業者）

### 花きの出荷について

出荷先	卸売市場（農協用）、その他（量販店等）
出荷形態	長さ90cm、箱に入れて出荷
生産・出荷割合	葬儀用：その他用 = ほぼ 10：0
葬祭業者が求める花きの情報の入手方法	業者から直接情報を入手したり、市場を通じて情報を入手する

### 葬儀用花きなどの生産・流通について

- ✓ 八女農協の場合、共選なので品質、規格を統一しています。
- ✓ 秀 90 cm 85%を確保することを心がけて生産しています。  
優は 75～80 cm、良は 60～70 cmです。
- ✓ 東北は祭壇が大きいいため大玉の花が好まれます。秀品は東北中心に出荷されています。
- ✓ 良品の一部と規格外品は市場経由で小売されます。スーパーには仏壇用や茎が細いものが流通しています。

## 葬儀用花き導入の時期ときっかけ

導入時期	昭和40年ごろにキャベツ生産から転換した
導入のきっかけ	葬儀用花きの単価が良いため

## 産地の現状と今後について

### 葬儀用花きの価格低下と生産者減少について

- ✓ 葬儀用の花きは、価格が低下傾向にあります。このため生産者が減少傾向にあります。
- ✓ 生産者の減少を補うため、若い人を中心とした規模拡大による生産量の維持を図っています。

### 需要量の動向と流通上の工夫について

- ✓ 市場出荷ではありますが、葬儀社からの注文による販売、相対取引が中心です。市場で葬儀用の花を購入する業者は決まっており、価格、本数、品質も同様であるため、時期によって、その内容は大きくは変化しません。
- ✓ 需要量全体は変化していませんが、月では初旬から中旬がやや多い傾向にあります。
- ✓ 需要の変化に応じて東北行きのトラックの荷を東京で下ろしたり、東京の荷を東北へ転送したりするなど工夫しています。

### 最近の傾向と今後について

- ✓ 若い人の好みによって、人気な品種は変化しており、スプレー菊、ディスバット（一輪仕立て）の需要が増加傾向にあります。
- ✓ 葬儀形態の変化と洋花系の好みの影響もあり、産地としても需要に合わせて少しずつ栽培品種を変化させています。
- ✓ 輪菊は芽カキ作業など人手が必要な品目なので、人手不足へ対応する必要もあります。

ハウス内での輪菊  
の芽力キ作業

芽力キは手作業に頼ら  
ざるをえません

品種によって、芽の量  
が異なるため、芽力キの  
回数が異なります



出荷場

八女電照菊として、全  
国各地へ出荷していま  
す



出荷場内  
(トラックに花きを  
積み込む様子)

